

平成 27 年 11 月 19 日

南砺市長 田中 幹夫 様



城端地域自治振興会長 松本 久介
(大鋸屋地区自治振興会長 兼務)



理休区長 中嶋 幸信



市道南砺井波城端線「消雪パイプの新設」要望について(理休地内)

晩秋の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃から、当地区にご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、平成 5 年頃、旧城端町で現道路（理休地内）の改良工事を施工しました。

当時、土地などを全面的に協力し、今日の道路幅員となりました。その後、交通量も増え、今では市街地への入口として大変重要な道路として通行しています。

しかし、冬季になると、この道路は「坂道」や「カーブ」でもあり、また、消雪パイプが設置していないため、車の通行に支障をきたしており、歩道を歩くと、いつ車が飛び込まないか、危険な状態が続いています。

つきましては、通行する皆さんの雪道確保として、安心して安全な「消雪パイプの新設」を要望いたします。何卒、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

<要望事項>

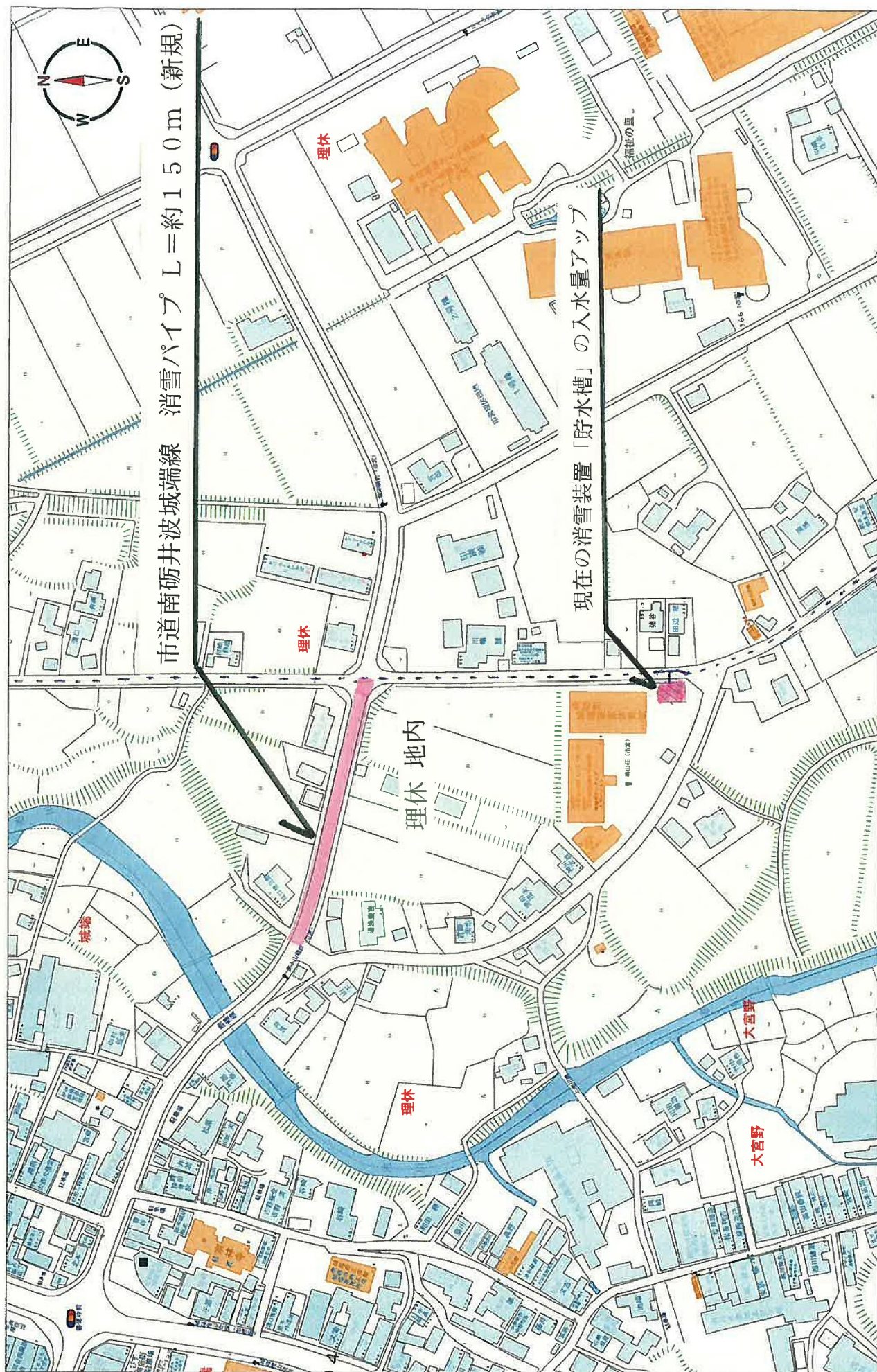
H27-054-001

消雪パイプの新設 L = 約 150m (理休地内)

H27-054-002

消雪装置の貯水槽 → 入水量のアップ

建設課 道路河川維持係





理休地内



理休地内



貯水槽



貯水槽